

インフラの復旧：自治体マンパワー不足解消に向けた取組

平成25年3月21日 宮城復興局

- ✓ 宮城復興局において、国家公務員OBや青年海外協力隊帰国隊員等を採用し、被災自治体へ派遣。
- ✓ 現在、宮城復興局で5名を採用、9名を内定で調整中で、民間企業からの派遣についても調整中。
- ✓ 25年4月には15名採用派遣予定。

○ 当該取組によるメリット

被災自治体	→	マンパワー不足の解消
復興庁	→	現場主義徹底のための体制強化
国家公務員OB／ 青年海外協力隊帰国隊員	→	新たな活躍の場の提供

○ 国家公務員OB等の採用状況

区分	人数	備考
市町村応援職員	2人	東松島市に1人、南三陸町に1人常駐派遣
市町村巡回職員	4人	宮城復興局に配属

宮城復興局 平成25年3月21日現在

○ 青年海外協力隊帰国隊員の採用状況

区分	人数	備考
市町村応援職員	3人	気仙沼市に1人、女川町に2人常駐派遣
	9人	4月に派遣予定
市町村巡回職員	2人	宮城復興局に配属

宮城復興局 平成25年3月21日現在

- 青年海外協力隊帰国隊員の派遣について、隊員の採用をシステマチックかつ継続的に行うため、復興庁、JICA((独)国際協力機構)、JOCA((社)青年海外協力協会)の三者による連携協定を締結予定。